



精神分析セミナー 系統講義

ジュニア・コース

主催 精神分析的心理療法セミナーみえ



企画

平井 正三^{※1}

御池心理療法センター

堀 恵子^{※2}

ながら心理相談室

鈴木 誠^{※1}

くわな心理相談室

13年度募集

日時	毎月第2土曜日 年 10回 17:30~20:00
参加資格	臨床心理士 心理職 社会福祉士 精神保健福祉士 精神科医 心理系大学院生
定員	15名
会場	くわな心理相談室 桑名駅にて下車(近鉄名古屋駅から20分)、西口(近鉄側)すぐ。
参加費	¥63,000

※1 日本精神分析学会認定スーパーバイザ

ー・認定心理療法士

※2 日本精神分析学会認定心理療法士

観察と記述、設定と態度、historyと理解

このコースでは、精神分析的心理療法の基盤を学びます。それは同時に心理臨床の基盤でもあります。これなくしては、この種の心理療法を安全かつ安定的に営めないような基礎を系統的に学べるように企画されています。

精神分析的心理療法は、多種多様な心理臨床のひとつであり、他人の「こころの痛み」や「運命」に触れるような営みです。この深淵な営みは、基盤となる一連の重要な行為によって構成されています。

それが精神分析的に観察することであり、その観察を叙述的に記述することです。この観察や記述は、精神分析的な態度や設定（治療構造）で行われます。そうして「こころの history」が再構成され、それをもとに「こころの世界」を理解していきます。

2年をかけて「観察と記述、設定と態度、historyと理解」を丁寧に学んでいきます。

●少人数で、じっくりと討論をしながら、体験から学ぶ

それぞれの講義では、臨床素材を中心にして、テーマを講師が解説し、参加者と討論して進めていきます。講義への能動的な参加によって、より深く理解し、臨床につなげることを目指します。

13年度「設定・態度・観察・記述」講師：平井・鈴木・堀

◇ヒストリーを持った個人と出会い、理解するために◇

精神分析的心理療法に限らず、心理援助を行う際、的確に見立てを行うことは、必要不可欠です。的確な見立てを行うためには、クライエントが今、どんな問題で困っているのかという「現病歴」への理解、個人がどのような家族の中で生きてきたのかという「家族歴」への理解、個人が、その家族の中でどういったパーソナリティを形成し、問題に直面するまでの間、どういった情緒体験を持ちながら生活してきたのかという「生育歴」への理解が重要となってきます。また、「現病歴」「家族歴」「生育歴」は、密接に絡み合っています。

13年度では、参加者に詳細に記述された1セッションの事例、「現病歴」「家族歴」「生育歴」を要約したものをそれぞれ提供してもらい、それらを素材とし、見立てについて考えていきます。

詳細な1セッションの事例では、事例を通して、面接場面の設定、セラピストの態度、クライエントのどういった点に注目し観察するのか、それらをどのように記述するのかを学びます。「現病歴」「家族歴」「生育歴」の要約では、「現病歴」「家族歴」「生育歴」のどういった点に注目し、聞くのか、得られた情報からどう見立てるのかを学びます。



14年度「historyと理解」

講師：平井正三・鈴木誠・他

日常的な心理臨床では、実際に精神分析的心理療法に入る前の「治療ゼロ期」は、きわめて重要です。この時期には、心理療法をおこなう施設で精神分析的文化を作り出すこと、ケースマネジメント、アセスメントなどの地道ですが重要な仕事が含まれています。

こうした仕事も、精神分析的心理療法の基盤なくしてはできません。13年度では、この基盤として「設定・態度・観察・記述」に焦点を当てます。14年度は、この基盤をもとに、議論を通して、テキストを読み解きながら、「histroyと理解」を学びます。

講義内容	必読文献
精神分析的思考とアセスメント	講師：平井先生による講義
関係性：持ち込まれる情緒	第1部関係の様相：第1章～第2章
関係性：転移/逆転移と空想	第1部関係の様相：第3章～第4章
関係性：空想と相互作用	第1部関係の様相：第5章～第6章
葛藤、不安、防衛：迫害不安と抑うつ不安	第2部葛藤、不安、防衛：第1章～第2章
葛藤、不安、防衛：喪失と喪の悲しみ	第2部葛藤、不安、防衛：第3章
葛藤、不安、防衛：賞賛と羨望	第2部葛藤、不安、防衛：第4章
洞察と援助的関係：洞察をうること	第3部洞察をうることとそれを心理学的援助関係の中で生かすこと：第1章
洞察と援助的関係：治療的相互関係	第3部洞察をうることとそれを心理学的援助関係の中で生かすこと：第2章
洞察と援助的関係：責任と負担	第3部洞察をうることとそれを心理学的援助関係の中で生かすこと：第3章

テキスト：臨床現場に生かすクライン派精神分析—精神分析における洞察と関係性（武藤誠訳・平井正三監訳）岩崎学術出版社

【精神分析的心理療法セミナーみえの歴史】

地方でも精神分析的心理療法を学べる場として、この研究会は1999年春に10名の有志が集い設立されました。この10名は中堅やベテランの臨床心理士で、それ以前もそれぞれが精神分析の研修を重ねてきました。研究会を設立するに当たり、自分たちがどんな研修機会を求めているのかを議論し、この研究会の理念を明確にしました。

2007年には日本精神分析学会の認定研修グループの認定申請するにあたり、平井正三氏を顧問（スーパーバイザー）に招請して研究会の運営を行うようになりました。

現在、日本精神分析学会認定研修グループとして「系統講義」と「事例検討会」を運営し、年一回の「特別講義」を主催し生涯研修の場としています。

【運営に関する基本的な考え方】

自分たちが優れた臨床家と評価できる講師を招く。講師と受講生は相互に自立した立場で、じっくり議論しながら学ぶ。できる限り一人の講師から通年にわたって学ぶ。議論を深めるために、できるだけ少人数で運営する。理論を学ぶ際も、臨床を中心にする。系統的に学ぶと同時に、自分たちが不足している分野や興味のある分野を学ぶ場とする。研究会は、狭義の徒弟制度とは距離を保ち派閥とはならない。

【申込方法】

事務局宛に、E-mailもしくはファックスで「系統講義ジュニア・コース」参加希望と明記して、氏名、所属・職種、住所、電話番号、メールアドレス、臨床心理士資格の有無、日本精神分析学会の会員資格の有無を記載し、お申し込みください。

【締め切り】 2013年3月23日 (定員になり次第、申込みを締め切ります。)

【申し込み先】

精神分析的心理療法セミナーみえ事務局

〒511-0811 桑名市東方山手通155-1 シャトレ桑名 201 くわな心理相談室

FAX 0594-27-3185

E-mail seminar-mie@mie-psychotherapy.net 電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

※参加希望者が4名以下の場合は、このコースを実施できませんので、あしからずご了承ください。